ファイナルレポート

機械・技術・材料セラミックス産業専門見本市 / 天然石・石材加工技術専門見本市
2025 年 10 月 15 日～17 日

2025 年 10 月 23 日

ASEAN Ceramics & ASEAN Stone 2025

サステナビリティに関する知見を共有、そして産業間連携を強化

Summary

- ASEAN 地域を代表するセラミックスおよび天然石見本市の継続開催
- 世界各地から 200 社を超えるブランドが出展、30 カ国から 3,000 人を超える業界関係者が来場
- 本見本市には、タイ、ベトナム、インドほか東南アジア諸国から約 300 人のバイヤーが来場
- 3 日間の会期中に 400 件を超えるバイヤー・セラーミーティングを開催
- メインカンファレンスと ICTA Conference では、セラミックスと天然石に関する 70 件余りのセッションを開催

Facts＆Data

会　　期	2025 年 10 月 15 日（火）～17 日（金） 9 時～17 時（最終日のみ 16 時）
会　　場	バンコク / IMPACT Exhibition & Convention Center
主　　催	MMI Asia Pte Ltd
規　　模	約 5,000 ㎡
出 展 企 業	200 社以上
来 場 者 総 数	30 カ国から 3,000 人超
主 な 出 展 品	ASEAN Ceramics:原材料・製造支援、セラミックス・特殊材料、製造技術・設備、エネルギー・先端材料、研究・サービス ASEAN Stone:石材・鉱物関連、建設・施工関連、機械・製造関連、エネルギー・先端材料、研究・IT・物流 など
併催プログラム	Conference、ICTA 2025（International Conference on Traditional and Advanced Ceramics）他
出 展 日 本 企 業	㈱イザワピグメンツ　ほか
専　用　ＵＲＬ	www.aseanceramics.com（英語）

ASEAN Ceramics & ASEAN Stone 2025 は、タイ・バンコクにおいて、第 9 回 ASEAN Ceramics と第 2 回 ASEAN Stone を終えた。Messe Muenchen のアジア子会社 MMI Asia Pte Ltd が主催し、タイ政府系機関 Thailand Convention and Exhibition Bureau（TCEB）の後援のもと、Asian Exhibition Services Ltd.（AES）の協力を得て開催された本見本市は、セラミックスおよび天然石業界における東南アジア最大の国際的な交流の場としての役割を、今回も成功裏に果たした。

本見本市は、タイ工業省 工業振興局の副局長 Surapon Plumjai 氏、タイ工業連盟（FTI） セラミックス産業クラブの会長 Atuk Chirdkiatisak 氏をはじめ、Thai Ceramics Society（TCS）および Vietnam Building Ceramic Association（VIBCA）など、地域・国内の業界団体代表の列席のもと開幕。10 月 15 日～17 日の会期中、200 社を超える出展ブランド・企業に加え、約 30 カ国から 3,000 人を超える業界関係者が来場した。国外からの来場者数上位 5 カ国は、インド、中国、ベトナム、マレーシア、インドネシアの順。

本見本市は、従来独立して開催されていたセラミックス領域と天然石領域における見本市のそれぞれ延長線上にあり、イノベーション、テクノロジー、そしてコラボレーションの観点から、統合見本市として相乗効果を生み出すことを狙って、同一会場で開催されるもの。特に今年は、ASEAN Stone 見本市がタイで初めて開催される記念すべきイベントであり、イタリアの天然石業界を代表する天然石協会 Confindustria Marmomacchine とタイのアジア鉱業評議会による支援を継続して受けている。

本見本市は、セラミックスおよび天然石の製造に関する素材・技術・機械の開発・進展・高度化に向けた業界の揺るぎない取り組みを、広く照らし出す機会となった。「東南アジアにおけるセラミックスと天然石のサステナブルかつ革新的な未来を切り拓く」をテーマに、出展各社は、白色系セラミックスや天然石タイルをはじめとする多様な製品の地域製造業者に向けて、最新の製品イノベーションとテクノロジーを展示・紹介した。そして、本見本市では、今年初めて欧州パビリオンが開設され、ドイツ、スペイン、ポルトガル、イタリアの企業が参加。これに加え、タイ、中国、イタリア、トルコ、EU 各国のパビリオンも設営され、ASEAN 地域との新たな連携構築に向けたゲートウェイとしての役割を果たした。

見本市で紹介されたイノベーション、テクノロジー、マテリアル：

- 3PowerFlow遠心ポンプ（CERTECH GROUP社 提供）
  最も要求の厳しいスプレードライ工程に最適化された、最新式で省スペース設計のポンピングソリューション

- HiCAST高性能石膏型（MUNGYO社 提供）
  大規模セラミックス製造に対応した高性能石膏型

- LK LAB Store移動型ロボット倉庫（LK Lab社 提供）
  スラブ形状製品向けの革新的な移動型ロボット倉庫システム

- BT Master品質管理システム（Ibea GmbH社 提供）

レンガとタイルの品質管理用モジュール式システム

- Quartz Powder石英粉末（PURESIL INDIA社提供）
  高純度・高耐熱性・優れた表面仕上げを特徴とする高品質の石英シリカ粉末
- Arabescato Corchia大理石（Barsimarmi Quarries社 提供）
  イタリア・アプアンアルプス産の高級大理石「アラベスカート・コルキア」
- Breton Trinityスラブカッティング・システム（Breton社 提供）
  スラブカッティングに革新をもたらす最新システム
- Macchiablock Premium（油・水対応）撥水シーラー（CHIM-ITALIA GROUP社提供）
  天然石材やそのほかの基材用に開発された、プレミアム処方の撥水・防汚シーラー

複数の出展者や来場者が強調しているように、「ASEAN Ceramics」や「ASEAN Stone」のようなプラットフォームは、ネットワーキングや国際的な認知度拡大を短期間で実現するための最適な選択肢であることに、依然として変わりない。
本見本市の主催者である MMI Asia Pte Ltd の CEO Michael Wilton 氏は、開会式のあいさつで、「この両見本市は、セラミックスおよび天然石両分野における最新の機械・素材・技術革新を紹介する包括的なプラットフォームを提供し、協業、ビジネス成長、知識共有において比類なき機会を創出することを目的としている」と述べている。
タイ工業連盟（FTI）のセラミックス産業クラブ（CICT）会長の Atuk Chirdkiatisak 氏も、スピーチの中で、「官民の強力な連携により、タイと ASEAN は、単なる生産拠点にとどまらず、イノベーションとサステナビリティの面でも、セラミックス製造のリーディングハブとしての地位を確立できると確信している」と、前向きな見解を示している。

見本市会場内では、出展者フォーラムを兼ねた「ASEAN Ceramics & ASEAN Stone Conference」が開催され、業界の発展、イノベーションの推進、さらに、この地域におけるセラミックスおよび天然石の持続的な生産の実現に必要な措置について検討された。そして出展者は、最新のデジタル化技術や刷新された製品を披露した。
主なトピックは以下のとおり。

- セラミックス分野における環境課題とその解決策への取り組み
- キルンファニチャー（炉内用治具）の原理、用途、アジア市場の動向
- 人造石材向けの先進的な研磨技術

出展者向けの事前工場見学、ネットワーキングレセプション、陶芸学術パビリオン、首都バンコクおよびナコーンラーチャシーマー県の陶芸スタジオによるライブ陶芸実演などの補完的なサイドイベントは、来場者にとって革新性を取り入れつつ、タイの職人技と文化的伝統を称える包括的な体験を提供した。

タイで開催された過去の見本市の伝統を継承し、ASEAN Ceramics & ASEAN Stoneの会場では、伝統工芸から先端材料までを幅広く取り上げたセラミックス国際会議「ICTA2025」も開催された。本会議は、タイ・セラミックス協会（TCS）、国立金属材料技術センター（MTEC）、およびチュラロンコーン大学材料科学科が主催する。この会議には15余りの地元大学と材料科学研究の地域専門家が招集され、先端セラミックス、建築・建設資材、エネルギー・環境応用セラミックスなどの分野に及んで議論された。
タイ・セラミックス協会（TCS）会長のSirithan Jiemsirilers氏は、「ASEAN Ceramics and Stones 2025は、革新技術の共有、新たなトレンドの探究、そして世界のセラミックス産業における協業の促進において、重要なプラットフォームとなっている」と述べ、「本見本市は、技術紹介にとどまらず、業界関係者間の連携を強化し、変化する世界情勢の中で競争力を維持するために、セラミックス分野の適応と変革を促す役割も果たしている」と続けた。

東南アジアは、衛生陶器、原材料、絶縁体、食器、関連資材、耐火物、重粘土、先端セラミックスの製造において、多様な生産市場を有している。

次回のASEAN Ceramics & ASEAN Stoneは、セラミックスおよび天然石の製造に関する機械・技術・材料を対象とした、東南アジアを代表する国際見本市の第10回および第3回開催として、ベトナム・ハノイで開催される。

詳細情報はこちらまで: www.aseanceramics.com

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:
メッセ・ミュンヘン　日本代表部
株式会社　メッセ・ミュンヘン・ジャパン
〒105-0001　東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階
Tel.: 03-6402-4583　Fax: 03-6402-4584　E-mail: info@messe-muenchen.jp
URL: www.messe-muenchen.jp（日本語）www.messe-muenchen.de（英語 / ドイツ語）